



自らモデルとなって「日本橋美人ゆかた」を紹介する日本橋Oクラブのメンバーら＝中央区で

日本橋美人ゆかた「登場」



「日本橋美人ゆかた」がお目見えした。中央区・日本橋地区の企業で働く女性社員でつくる「日本橋Oクラブ」が、地域再生を目指して展開している統一ブランド「日本橋美人」商品開発の一環で、今シーズン初登場。三十日に地元百貨店で行了たファッションショーで披露され、買物客らの注目を集めた。

伝統を理解しつつトレンドにも敏感、知的で個性豊か、感性も高いという「真の粋な女性」を同クラブは「日本橋美人」と位置づけている。新作ゆかたは十五点で、ゆかた・和装卸の老舗「堀井」(中央区日本橋久

ブランド商品開発の一環

松町)が、同会員が選定したものを商品化した。綿の生地を麻を多めに混ぜて量感を出したことが特徴。堀井定雄社長は、「すでに地方からも仕入れの問い合わせが来ている」と話し、「日本橋」のブランド力に期待を込める。

日本橋高島屋で行われたゆかたファッションショーでは、同クラブ会員の女性社員八人が「日本橋美人ゆかた」のモデルとして登場。別のゆかたを着たプロのモデルとともに、買物客らを前にポーズをとった。

「日本橋という土地の雰囲気を守りも知っている人たちに着ていただいた」と同クラブ主宰の山田晃子さんは狙いを話す。

モデルを務めた寝具製造卸「西川産業」勤務の酒井理子さんは「緊張しました。着やすくて、すてきです」と話していた。(榎本哲也)